

わたしの思い

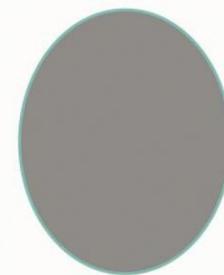
みなさん、こんにちは。この度の選挙、4期目を目指し、ふるさと行橋から立候補致しました。

3期目の今期は、まさに新型コロナとの戦いでした。これまでに誰もが経験したことのない非常事態が、ある日突然我々の前に訪れました。昨日までの日常が失われ、先が見えない不安が広がりました。正直政治も、どう対応していいのか分からずに、自信を失っていたかもしれません。しかし、政治は、このような時にこそ人々の不安を和らげ、進むべき方向を示す羅針盤たる存在なのです。希望はやはり、政治が確たる信念を持って、人々に語りかける時に生まれるものであり、今回の事態ほど、政治の存在意義が再認識されたことは無かったかもしれません。福岡県政においても、新型コロナ対策や災害対策に多くの時間を割き、県民の皆さんが希望を見出せるよう、取り組んできました。また特に、地元選出の唯一の県議としては、地域の発展に繋がる事業推進のため、継続して取り組みました。駅前通拡幅もいよいよ完成が見えてきましたが、これを中心市街地活性化へと繋げていかなければなりません。同時に、本県及び九州の中心である福岡都市圏との結びつきを強めていくことが、地域の生き残りのため重要だと考えています。

我々議会議員は首長とは異なり、個々の議員が政策執行権をもって、種々の政策実現を直ちにお約束するという立場にはありません。ですから、スローガ的な政策を訴えるより、ここでは正直に、自分自身の思いを述べます。議会議員として自分に与えられた権限と役割、これを忘れることなく、「議員の本分」を果たしていきたい。今後もみなさんの代理人として、福岡県という自治体に対し意見を述べていきたい。・・・改めて、政治は誰もが当事者です。我々のまちを、ふるさとを、みんなが当事者として参加し、より良くしていく。そんな土台を共に築いていきましょう・・・堀大助

プロフィール 弁護士・陸上自衛隊予備自衛官（法務、二等陸佐）昭和54年生まれ行橋保育園、行橋小学校、行橋中学校卒業、平成10年 福岡県立京都高等学校 卒業 平成14年 早稲田大学法学部 卒業 平成15年 司法試験合格 合格後リュック1つで旅し、世界情勢を学ぶ 帰国後、弁護士として活動、イギリス留学、再度の一人旅を経て、政治の世界へ 平成26年 福岡県議会議員 初当選（現在3期目）趣味：マラソン・サイクリング・野球・ドライブ・読書・一人旅（約60ヶ国以上）好きな言葉：正直が最良の戦略である

知行合一（本当の知は実践を伴わなければならないということ。）尊敬する人：河井継之助（幕末の長岡藩家老、司馬遼太郎『峠』の主人公）政治を志した理由：子ども心に祖父（元行橋市長故 堀助男）の話聞き活動を知るにつれ、地域・ふるさと政治に興味を持つ【わたしも応援しています！】福岡県知事 服部誠太郎 自民党福岡県連副会長・緑友会福岡県議団会長 井上忠敏 福岡県農政連、連合福岡 他多数【主な公職・役職（歴）】福岡県議会 議会運営委員会 理事 農林水産常任委員会 委員長 スポーツ立県調査特別委員会 副委員長 福岡県弁護士会 民事介入暴力対策委員会 委員



堀大助（43歳）  
現福岡県議会議員・弁護士

# 行橋市民のために失った予算を取り返す！

朋友の服部誠太郎県知事と共に産業政策や経済政策を積極的に推進していきます

## 政 策

- 小・中学校の給食費を無償化、0歳児から18歳までの医療費の無償化など、子育て環境の整備を拡充します。
- 防災対策を強化し、市民が安全で安心して暮らせる明るい行橋づくりを行います。
- シルバー事業の拡充を図り、高齢者の働く場と生きがいづくりを支援します。
- 渇水時水不足の解消を実現します。



過去の経験や実績を生かし、行橋市の発展に尽力します  
住みやすく、暮らしやすい行橋を実現します

## これまでの実績

- ・ 行橋駅高架事業
- ・ 東九州自動車道の実現
- ・ 新今川橋の橋梁
- ・ 崎野踏切の拡張
- ・ 祓川の下流、鶴井堰の改修事業
- ・ 苅田工高50周年記念の新改築事業
- ・ 地域再生医療基金をいただき新設した施設  
{行橋京都メディカルセンター(休日 夜間急患センター)}  
など

## プロフィール

行橋小、行橋中、京都高校卒  
中央大学法学部卒業  
参議院議員(元 文部大臣) 剣木亨弘 秘書  
損害保険ジャパン 代理店  
行橋市議会議員(2期 H4~H11)  
福岡県議会議員当選(3期 H11~H23)



福岡県議会議員候補  
おかだ ひろとし  
岡田 博利

# 行橋に全力で恩返し! 県民の生命や財産 暮らしを守ります!!



えもと  
江本みりる

① 出産・子育て支援

② 若者たちが集える場所

③ 高齢者は知恵と経験の宝箱!

④ 生活基盤(インフラ)整備

⑤ 教育が日本を蘇らせる!

⑥ 医療・福祉・介護

⑦ 農林水産業への取組み

⑧ ペットとの共生

私たちの暮らしは、赤ちゃんからお年寄りまで、全ての世代を通じて数え上げてもキリがないほどの課題や問題に直面しています。今後さらに少子高齢化が進むにつれて、これまでと同じような暮らしが維持できなくなることは容易に想像できます。

しかし、これまでも多くの政治家たちが、見栄えの良いキャッチフレーズやキレイな言葉を並べてきましたが、実際に私たちの暮らしは良い方向に変わってきたでしょうか?

いま私たち市民が「無関心」や「他人任せ」を辞めて、自らが主人公となり「明るい未来」を見据えながら「いま」をしっかりと行動していくこそが本当に大切なことではないでしょうか?

そして私たちが未来に残すべきものは、豊かな自然、家族の絆、助け合う心、故郷を想う気持ち、安全な食べ物など、日本にもともと有ったものばかりではないですか?

子や孫たちが目を輝かせて遊び・学び、青年が希望をもって汗をかきながら働き、お年寄りが笑顔で安心して過ごせる社会を築くためにも、いま私たちにできる事から目を背けずに、みんなの知恵と力を合わせてよりよい社会を築いていきましょう!

## 【主な役歴】

- 一般社団法人 行橋市観光協会 会長
- 行橋商工会議所 議員
- 日豊地区宅建業協同組合 理事
- 一般社団法人 行橋未来塾 代表理事
- 行橋南校区子ども会 副会長
- ゆくはしこども食堂 アドバイザー
- 大相撲 片男波部屋 行橋後援会 会長

## 【プロフィール】

- 昭和45年12月29日生まれ 52歳
- 行橋南小学校～行橋中学校 卒業
- 苅田工業高校中退～大検取得
- 北九州市立大学 法学部政策科学科 卒業
- 株式会社エモーション(不動産業)代表



オール  
行橋